

Takashima Toujyu Kai

会報

No. 38
2025.5.20

高島藤樹会

(題字は、竹脇雲卿先生によるものです)

発行
NPO法人 高島藤樹会〒520-1224
滋賀県高島市安曇川町上小川 225-1
藤樹書院・良知館内
電話・FAX 0740 (32) 4156
<http://takashima-tojukai.com/>

未来につなぐ

藤樹先生の教え

高島藤樹会 理事
中村 眞奈美

○藤樹会と関わって

最初の一步

この会よりお誘いを受け、入会させて頂くことになり、丁度一年が過ぎようとしています。「中江藤樹」という方が江戸時代の儒学者で、陽明学の開祖である偉大な方だということは知っていましたが、それ以上のことは詳しく知らず、と言うレベルの私でした。

そんな私に、入会はのみならず組織として五つある委員会の中で「思想普及委員長」を任命され、これはどうしたものか、と悩む私でした。

藤樹会では、皆さん熱心に学ぶ機会を持っておられ、圧倒される思いで刺激を受けることで「藤樹先生の教えをどん欲に学ばなくては」と、自分に言い聞かせ、正に藤樹先生の教え通りの「和やかな顔、思いやりのある言葉、相手をやさしく見る」

を実践されている先輩の皆さんに、引っ張ってもらいながらの一年でした。

○藤樹思想の

普及活動の様子

私の所属する委員会の主な活動目標は「藤樹紙芝居を活用して、先生の教えが幅広い年齢層に親しまれるようにする」とあります。

令和六年度の活動の一つとして、私が一番印象に残っていたのは、地元、高島高校の演劇部の皆さんに紙芝居のアフレコをお願いすることに関わったことです。



高校生のアフレコの様子

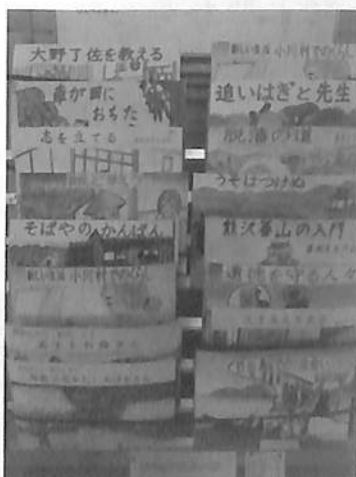
顧問の先生と話し合い、また演劇部の生徒の皆さんと実際にお会いしてお話ししましたところ、快く引き受けて頂くことが出来、三学期の寒

い日ではありましたが、録音の日を迎えました。皆さんの心のこもった迫真の演技に感動の私でした。こうして、一作品が見事出来上がりしました。もちろん今年度も引き続き、演劇部の皆さんに取り組んで頂けることになっています。

○そしてこれから...

こうして高校生たちの藤樹先生の教えを携えての演技が、紙芝居を見た子どもたちに、つながり響いて行く：こうしたことの積み重ねで、多くの皆さんに藤樹先生ファンになってもらえるのではと、大きな願いを持ち、日々学習を深めていきたいと思っています。

それと、藤樹先生のことを知れば知るほど、いつか大河ドラマの主役にな！と強く思うようになったのは私だけでしょうか？



コラム：吉田公平先生

(東洋大学名誉教授)

清水安三と中江藤樹



清水安三は一八九一年（明治三十四年）に滋賀県高島郡新儀邑に生まれた。安井川小学校、安曇高等小学校、

滋賀県立第二中学校（膳所中学校在学中に大津教会で受洗）を経て、一九一〇年に同志社神学部に進学。一九一五年大津歩兵連隊に志願兵として入隊。一九一七年除隊し、中国伝道を開始。一九二一年、北京に崇貞女学院を設立。その後基督教伝道活動、文筆活動を果敢に展開。一九二三年八月四日、夫婦共に横浜港から米国に向けて出港。オベリン大学に入学。オベリン大学卒業後、北京に帰着。その間『基督教世界』編輯主任、同志社専門校非常勤講師。一九三三年美穂夫人逝去。一九三五年小泉郁子と結婚。北平に転居。一九三七年盧溝橋事件起こる。一九四六年三月、日本に引き揚げ五月に桜美林学園（現桜美林大学）を創設。一九八八

年一月七日、急性心不全で逝去。著作は十四冊。関連著書は太田哲男『清水安三と中国』の巻末に紹介されている。その中に『中江藤樹の研究』桜美林学園出版部、一九四八年。『中江藤樹はキリシタンであった』桜美林学園出版部、一九五九年。『中江藤樹』東出版、一九六七年。の三書が紹介されている。小生は『中江藤樹の研究』『中江藤樹はキリシタンであった』は未見である。但し、ここに紹介されていない『史的中江藤樹―藤樹学派の抵抗―』刊記無し。「まえがき」は昭和三四年（一九五九年）八月二五日に執筆。油印。ガリ版摺り。『中江藤樹はキリシタンであった』を未見なので確信はできないのだが、この油印本を活字印刷したのもかもしれない。その八年後に出版された『中江藤樹』はその新装版であるのかもしれない。小生が架蔵するのは、『朝陽門外』朝日新聞社、一九三九年。『開拓者の精神』隣友社、『支那の心』隣友社、昭和一六年。『北京清譚・体験の中国』教育出版、一九七五年。のみである。以下の『支那新人と黎明運動』大坂屋書店、一九二四年。『当代支那人物』大阪屋書店、一九二四年。『支那革命史論』南満州教育会、一九二九年。『支那の人々』隣友社、一九三八年。

『姑娘の父母』改造社、一九三九年。『続支那の人々』隣友社、一九四一年。『支那人の魂を掴む』創造社、一九四三年。『希望を失わず』桜美林学園出版部、一九四八年。などは架蔵しない。清水安三の全体像について語るには小生は適任者ではない。その意味では太田哲男が相応しい。太田哲男の『清水安三と中国』の巻末に桜美林大学に於ける清水安三研究など状況についての情報が掲載されているのはありがたい。その後の十五年の状況は一新したかと思うが。小生は不勉強のままである。清水安三の中江藤樹論の特色は二点ある。一点は伝記研究の獨創性である。もう一点は、中江藤樹はキリシタンであったと断言したことである。とても興味深い指摘であるのだが、後に言及することにする。今は次の二書を紹介することにする。一つは山崎萌子著『朝陽門外の虹 崇貞女学校の人びと』岩波書店、二〇〇三年。清水安三の本領を活写大作である。盧溝橋事件以後の日本軍の侵略の中での快挙である。もう一つは淵田隆雄著『天命の人―小説中江藤樹―』である。清水安三の中江藤樹理解と重なるが、改めて考察することにする。

ひじりの声 上田 藤市郎

今自分が見聞きしている人やものを、本当に信じていいものなのかどうかをしつかりと確認することが大切な時代である。「石橋をたたいて渡る」という諺があるように人生においては、用心の上にも用心を重ねよと古人も忠告している。

インターネットを悪用して金銭をだまし取る犯罪が広まっています。多くの人々が被害に遭っている。我々には「人間は本来的に善人である」という性善説が心のどこかに宿っていて、その人の良さにつけこまれて多くの人々が被害に遭っているのかもしれない。「人を見たら泥棒と思え」という戒めの方に考え方を要するべきなのであるうか。

私たちの日々の生活の基盤である金銭やカード、市民生活の約束や決まりなどは、「相互の信頼」のうえに成り立っている。世界や日本の政治家の発言や行動もそれを信じる人々の「誠意」に支えられている。それらが今や、戦争、内乱、関税を発端とする経済の混乱などによって危機に瀕している。「信」という文字が表すように、人間の言葉がそのまま行動に現れるのが「信頼」でなくてはならない。言葉をもちあそぶものは、絶対に指導者になるべきではないし、私たち自身が明確に拒否する姿勢を貫かねばならない。「信頼」こそ時代を超え、世界に普遍的な私たちの合言葉である。

藤樹人間学塾…

藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生関連の著書を中心に思想を学ぶとともに自らの頭で考え、時事問題と組み合わせて皆で議論しながら思考を深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその概要をお伝えいたします。

■一月、安曇川公民館で第百五十七回人間学塾を開きました。大阪から一名、大津から二名を入れて七名の参加でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』（中公バックス日本の名著）

●今日のポイント

・心の奥底の真実・不実・・・心を見ることは難しい。善に誠実なところがあれば一度は欲に惹かれるとしても最後は善の道に戻るはずだ。志のない人は善悪の道を漂う。

◇フリートークキング

・「天命とは何かを考えた。自分の命は自分で守る。能登の人々の支援など、やれる範囲のことはやることが義であり天命だと思う」

■二月、第百五十八回人間学塾を開きました。京都から一名、大津から四名を入れて九名（うち女性四名）の参加でした。初参加三名。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・性と心と気・・・朱子は、絶対の世界である太虚（理＝大宇宙）が目に見える相對の世界（氣）に万物を存在させているが、理と気は二元であるとする。一方王陽明は、人間は（大宇宙の分身であるので）生まれた時から心と理（体）は一体であり、心が後から付け加えられたものではないとする。蕃山は両者の説を併取して理気混融説で



ある。

◇フリートークキング

・「初参加して中江藤樹先生の「孝」の思想を教えてもらってよかった」

・「いろいろな資料を提供してもらったので感謝。復習する」

■三月、百五十九回人間学塾を開きました。大津から五名を入れて八名（うち女性四名）の参加でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・貧は世界の福の神・・・世の中の人が残らず富めば天地そのまま尽きてしまうでしょう。貧しいと努力するが、生まれながら裕福だと努力しないのでやがて衰退する。

◇フリートークキング

・「息子のことで悩みがあるが、自分が変わらないといけないと思った」

■四月、第百六十回人間学塾を開きました。大津から五名を入れて十二名（うち女性五名）の参加でした。初参加一名。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・百姓の清福・・・堯舜（徳のある

君主）の民は貧しくはあるが乏しいことはない。無病息災なら清福ではないか。徳のない富貴は浮いている雲のようなものである。

・豊かさとは貧しさを分けるのは心・・・

心が愛で満たされている人は、その人に必要なものは、仲間でもお金でもすべてもたらされる。（斎藤一人）。

◇フリートークキング

・「学んだことを話すと定着する。私心がないか、本当に相手のことを思っているか、考えてやるとよい結果が得られる」

・「心の住家。藤樹先生は良知という心の住家に到ることを考えられ、身も母のもとに帰られた」等の意見をいただきました。ありがとうございます。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

藤樹人間学塾 今後の予定

六月七日（土）、八月二日（土）、

九月十三日（土）

■時間（原則）十五時～十七時

■場所（原則）安曇川公民館



「立志祭」から

「立志祭」を終えて

毎年、藤樹先生の誕生日である三月七日の前後に、九歳の頃の藤樹先生の思いを知り、今の自分を見つめ、自分の志を持つための足がかりとするために市内の全小学校の三年生を対象に、「立志祭」が実施されています。

この度、市内の小学校から「立志祭後の児童作文」をご提供いただきましたので、次に紹介します。ご提供ありがとうございます。

今津北小学校

立志祭

桂田 全

ぼくはシェフになりたいです。なぜかというところぼくはよりがすぎだからです。なのでぼくは家でもりよりの手つだいをします。今年のそつ合の野さいづくりではなすを育てて、なすの肉まきなど一人でりよりもしました。これからもつづきたいです。五年からはじまるかていかのべんきょうもがんばりたいし、外国のおきやくさんのために英語もがんばりたいです。ねぼうしないように早ね早おきもがんばりま

す。大人になって日本料理のシェフになって、たくさんの人においしいと言ってもらいたいです。



佐々木 琴

わたしはしょう来、小せつ家になりたいです。なぜなら、今そんけいしている人がむらさき式部さんだからです。

小せつ家になって人をうれしい気持ちにさせたいと思っています。たくさん小せつをかいて、たくさんの人に読んでもらって、自分も読んだ人もいい気分になってほしいです。そのために、これからたくさん勉強をがんばりたいです。もっといろんな本を読んで、今から絵本とか小せつを書いてみます。そしてかっこいい小せつ家になりたいです。そんけいしているむらさき式部

さんの本も読んで、たくさんの人にあいされる本を書けるように努力していきたいです。



福田 エミリア

わたしはしょう来、小学校の先生になりたいと思っています。なんでもかと言つと、まるつけもすきだし、問題がわからなかったら教えたいからです。ぜんもん正解になるまで、まるつけもちゃんとしたいです。出来たらほめたいです。そのためには大学に行かなくてはなりません。なので先生のお話をきいて、集中して勉強し、宿題もしっかりがんばって自しんをつけたいです。

先生になったら、朝一番に子どもたちにおはようございますって言いたいです。みんなもおはようございますって言ってほしいです。

安曇小学校

立志祭に参加して

古城 葵

立志祭の一部で、藤樹書院の見学をしました。そこに、火事の時に村の人が必死に守った藤樹先生の服が残っていてびっくりしました。ぼくが藤樹先生から学んだことは、いつも心をみがかないといけないということです。ぼくはたまにうそをつくけど、藤樹先生の言っていることを



聞いて「うそはいけない」と強く思いました。藤樹先生はとてもやさしくてすごい人だと思いました。

立志祭に参加して

岸田 侑馬

僕は今回の立志祭で色々なことが学べました。中でも家族を大切にするという考えが心に残りました。藤樹力ルタでは、他の学校の人と友達になりました。とても嬉しかったです。今回奉納した志を二十歳になってみるのが楽しみです。とても楽しい立志祭でした。また他の学校の人とも交流して楽しい立志祭をやりたいです。



青柳小学校

藤樹先生から学んだこと

藤井 大智

藤樹先生は家族を大事にしています。ぼくは今まで親は大事にしてきたけど、妹はあまり大事にしていなかった。藤樹先生のこの考えを聞いて、これからは家族一人ひとりを大事にすると決めました。この考えを知ることができてとてもうれしいです。なので、これからもうつとめないように心に刻んでおきたいです。将来、家族をもつたときに、次の世代に「家族を大事にする」という藤樹先生の考えを伝えていきたいと思いました。

藤樹先生から学んだこと

山崎 心咲

藤樹先生は「一生懸命」を大切にしていたと学びました。一生懸命に取り組んで成功しなかったとしても、一生懸命に取り組んだということが残るので、なにひとつムダになることはないということを知りました。それを聞いて私は、志や苦手なことにあきらめず、自分を信じて一生懸命に取り組もうと思いました。

藤樹先生から学んだこと

西川 陽彩

藤樹先生が大切にしているものが「家族」だということを初めて知りました。昔、藤樹書院が大火事になったときに、村の人たちが藤樹先生の服や本などを守るためにそれらを外に出したと聞きました。村の人たちをそこまで動かす藤樹先生はすごくやさしく、すばらしい人だったのだなとわかりました。そんな藤樹先生について学習をして、私も藤樹先生のような人になりたいと思いました。



藤樹先生の教えから学んだこと

倉塚 芽依

立志祭に参加して、藤樹先生の教えをたくさん知りました。

人に優しくすること、楽しそうな笑顔、ぼう言やぼう力をふるわないこと、こまっっている人がいたら助けること、勉強をさぼらないこと、自分のことだけでなく人のことも考えることなどです。

藤樹先生のが気になってきました。藤樹先生はかしこいだけでなく、礼ぎややさしさもあるとわかりました。一度、藤樹先生に会いたいと思いました。

本庄小学校

立志祭に参加して

梅村 珠生

私は、藤樹先生のことをたくさん知ることができました。藤樹先生は塾を開いて、子どもたちに道徳を教えた、いつでも「致良知」を大切にしたりしていたそうです。私も藤樹先生みたいに「致良知」「五事を正す」「敬愛」を大切にしたいです。藤樹先生は自分の夢を叶えていたそうです。私も藤樹先生を見習いながら頑張りたいです。

藤樹先生から学んだこと

竹内 ちひろ

私は、藤樹先生が家族を大切にすることや、一生懸命に勉強するとい

うことを大事にしていたことを初めて知りました。私も家族を大切にすることを大切にしたいです。

マキノ東小学校



今津東小学校

○今津東小学校の皆さんが書いた「私の志」のいくつかを紹介します。

薬師川 けい

私の将来のゆめは、お花屋です。私がなぜお花屋になろうと思ったかというところ、お花を植えることが好きだし、いろんな人にお花のみりよくを知ってもらいたいからです。

お花屋になるため、私は家でお花を植える練習、お花をつつむ練習、お花の本を読むしゅうかんをつけることをがんばります。でも一番大切なことは、お花の本を読むしゅうかんを作ることです。なぜなら本を読むことがきらいだからです。

私は将来お花屋で人気になりたいです。私は自分が好きなお花についてくわしく知ってお客さんに教えてあげたいし、お客さんにすごいって言われたいです。あと、好きなお花がいにもくわしく知ってお客さんに教えてあげたいです。

たいへんな所や、むずかしい事がいっぱいあるけど、いつもえがおでやさしくしながらがんばります。



西川 さくら

私のしょう来のゆめは、パン屋です。なぜならパン作りは楽しそうだし、パンがすきだからです。

パン屋さんになるために、私はパンの作り方の本を読んだり、早くねるしゅうかんをつけたりして、作り方をおぼえ、早く起きるようになしたいなと思いました。

私がパン屋さんになるためにいちばん重ようだと思つのは、パンの作り方と焼き方です。作るのと焼くのは、私には少しむずかしそうだから、とくにそれらの練習をがんばろうと思います。

それから私がこくふくしたい事は、材料をおぼえることです。私は

おぼえることが少し苦手なのでがんばろうと思いました。

今はけっこうおぼえるのが苦手なので、本を読んで文章の理解ができるようにならなうと思ひました。おぼえる事がけつこうたくさんあるけど、パン屋さんになるためにがんばりたいです。



河原田 ゆめ

わたしのゆめは、有名なイラストレーターになることです。

なぜかというところ、親友三人といっしょにしようねと言つたし、絵を描くのがすきだからです。

ほいく園から絵をかくのが大すきで、ずっと絵をかくのにひつしでした。今でもそのゆめをあきらめずに

前にすすんでいきたいなと思いましたが。色のつかい方、えんぴつのつかい方などを考え、イラストレーターさんの画ぞうをさんこうにして色々な絵にチャレンジしてみたいです。

そのためにわたしは毎日練習やくふうをがんばります。なぜかと言うと、毎日練習しなかったらやり方をわすれたり、うまくするやり方もわすれるかもしれないし、毎日練習やくふうをすると、日々うまくなっていくと思うているからです。ほかに絵をうまくするために、絵をかくのになれる、どりよくをする、ペンのつかい方やかき方などをいっぱいしていくことをがんばります。

とくに一番大事なのが、あきらめないことです。ほかの人よりへたでも、あきらめないことが、わたしにしたら一番大事だなと思っていました。メンタルもつよかったらいいなと思いました。

イラストレーターさんになれるように色々な工夫をして、イラストレーターさんになりたいです。

小沢 れいな

わたしのゆめは、人気のパティシエです。

なぜパティシエになりたいのかというと、はじめてチョコレート作りをやってみたら、むずかしかったし、

たいへんだったけど作るのとトッピングが楽しかったからです。あと、みんながスイーツを食べて、つらいこと悲しいことをなくして、にこにこえがおになってほしいから、わたしのしょう来のゆめはパティシエになろうと思いました。

そのためにわたしは家でお母さんにおかしの作り方を教えてもらったり、図書館に行っておかし作りの本をかりて、家でおかしのしゅるいを調べたり、おかしの作り方やおかしのざいりょうやそのおかしに使う道具を調べたりします。パティシエは体力がひつようなので、わたしはうで、手首をきたえようと思います。あと、パティシエはお金の計算もしないとだめだから、ひき算、たし算、かけ算などをあんさんでできるようにしようと思いました。このようなパティシエになりたいです。

奥島 あおい

わたしのゆめは、有名なガラス作家さんです。

なぜかと言うと、わたしはガラスが大すきで、お父さんとお母さん二人ともガラス作家で、仕事をしているところを見てやりたいと思ったからです。

わたしはガラスが、太陽にはんしゃするところが大きいです。太陽

にはんしゃしたガラスの光は、そのガラスの色でゆかに色がうつってきれいです。

そのためにわたしは体力作りをがんばります。ガラス作家は、体力を使うから体力をつけたいです。とくに体力を使うと思うのは、ふきガラスです。わたしが見たとき、ふきガラスはとても大へんそうでした。わたしはふきガラスをやるうと思いましたが。それと算数をがんばりたいです。ガラス作家は、作品の重さをはかったり、作品の大きさをはかったりします。ねだんの計算もします。入れ物の長さは、作品の大きさによってえらびます。

このようにして、わたしはがんばってゆめをかなえたいです。

○今津東小学校の皆さんからいただいた「私の志」は他にもあるので、次号でも紹介します。



藤樹書院・良知館通信①⑦

侍ジャパン率いた元監督・

栗山英樹の人心掌握術

「知行合一」

藤樹書院 志村 洋

「人ごとにするな」と言う事はずっと言い続けました。とにかく侍ジャパンの選手に伝えたかったのはそれだけでした。」

ワールドベースボールクラシック(WBC)で日本代表を世界一に導いた栗山英樹元監督。北海道経営未来塾での講演で、自ら導き出したリーダー論を展開。その一部をお伝えします。

野球監督の仕事とは「最終的に判断すること」とし、試合中の決断や選手交代などで「2回同じ事が起きたとき同じ判断をすることができるかどうか」を常に考えていたという。チームが勝つ時の雰囲気について、「気持ちが一緒になるだけでなく、試合に出ている人も出てない人も自分のできる準備を最大限にやりきっていくと、みんなが反応するようになる」と説明した。だからこそ「選手たちにどう何を伝えるか」に知恵を絞ったという。

自ら選手の携帯に電話を架けて選抜内定を伝えたり、決定後は選手全員に手書きの手紙を送ったり……。各球団から選手を選ぶ侍ジャパンはチームづくりの時間がなかったこともあり、「一人一人が自分が日本代表なんだという感覚を持てくれるようにすること」を心掛けた。

若手選手の育成術では、米大リーグ、ドジャースの大谷翔平選手が日ハムに入団して「二刀流」に挑戦することを決めたとき、「みんな色々な意見があるのは判るが、何が正しいかも判らない。『できるか』『できないか』ではなく、『やるか』『やらないか』だったと打ち明けた。その上で「やってみれば、何か新しいものが生まれてくる。そういう感覚を持つ人を増やすことが組織にとって重要」とし、「侍ジャパンが勝てたのも選手達がそういう感覚を持ってくれたから」とした。

日本ハムファイターズも含めて十二年間の監督経験から得た結論として、読書家としても知られる栗山さんが掲げたのは陽明学の「知行合一」。

「知識だけがあっても、実践したことがなければ知らないのと同じ。行動が伴って初めてその知識は完成される」

「知って行動をなさなければ、何の意味がない。自分でやらなきゃ意味がないということが世の中にいっぱいある」

栗山さんは経営者のリーダーシップに期待し、こんなメッセージを送った。「トップがやることは難しいことじゃない。毎日笑顔で、自分からあいさつすればいいんです」

毎朝、青柳小学校の生徒さんから「おはようございます」の挨拶をもらってます。また校長先生も校門に立って生徒を迎えられている。元気な一日の始まりです。



賛助会員一覧

★既加入の賛助会員一覧

ご協力ありがとうございます。

- 伊丹製薬株式会社
- ウェストレイクホテル可以登楼
- 税理士法人淡海総合会計
- (元) 大津公証人会 白髭博文
- 大溝工業株式会社
- 株式会社 大山建設
- 岡本アルミ建材株式会社
- 川島酒造株式会社
- 川島織布株式会社
- 有限会社 クリエイト・マエダ
- 株式会社 Grow's
- 株式会社 桑原組
- 有限会社 宏和商事
- 税理士法人 小畑会計事務所
- 株式会社 才川食品店
- 佐治タイル株式会社
- 株式会社 澤村
- 株式会社 シグマックス
- 清水安三記念館
- 有限会社 白浜荘
- 新旭電子工業株式会社
- 杉橋建設株式会社
- ソエダ 株式会社
- 高島鋳建株式会社
- 田中マネジメント事務所

- 樽野工業株式会社
- 株式会社 TADコーポレーション
- 鉄屋商事株式会社
- 寺子屋まなごし重心塾
- 有限会社 天平フーズ
- 株式会社 戸井薬局
- とも栄 藤樹街道本店
- 株式会社 ナカサク
- ナカシヨウ 株式会社
- 株式会社 中田運送
- 中村印刷株式会社
- 株式会社 中村測量設計
- ニッケイ工業株式会社
- 八田建設株式会社
- 有限会社 馬場塗装
- 戸次会計事務所
- 株式会社 ホリゾン
- 有限会社 丸三旅館
- 株式会社 ミツホ工芸
- 株式会社 森下工業
- 株式会社 ヨシダヤ

(五十音順)

★新規賛助会員募集中!

前号に引き続き、新規にご加入いただける賛助会員(企業)様を募集しています。

ご紹介していただける企業様がありましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。